



2020年7月

海外協力隊員向け「再派遣応援！コミュ開ツール紹介&相談会」を実施しました

2020年7月2日(木)、7月7日(火)の2回にわたり、一時帰国中の海外協力隊(JOCV)向けのセミナーを開催しました。昨今の新型コロナウイルスの影響下で、一時帰国を余儀なくされている隊員の方を対象にした、協力隊経験者のIFPaT 研究員による応援企画。再赴任時に活用可能なツール紹介と活動上の相談会を同時開催するセミナーを実施、述べ8名の方に参加いただきました。

IFPaT が長年取り組んできた「生活改善アプローチ」は、住民に寄り添い、住民の主体性を促すアプローチであり、隊員活動とも相性がいいと私たちは考えています。そこで、隊員活動に生きる生活改善アプローチのポイントを確認した上で、7/2には「点検マップ作成」、7/7には「自分の得意なこと」という実際にコミュニティ開発の現場で用いられているツールの紹介と演習を行いました。オンライン上での開催でしたが、座学だけではなく実習の時間も取り入れることで、生活改善アプローチの手法を学ぶ手立てとしました。

また、ツールの学習をおこなった後は、隊員の方の活動にまつわる相談会を開催。協力隊OVの立場や技術協力プロジェクト等の経験から、悩みを軽減する方法を一緒に考える時間を設けました。また、少人数開催ならではの取り組みとして、相談会は事前アンケートに基づいた内容とし、終了後にそれぞれの参加者宛の1,000文字以上にわたる応援メッセージもお送りしています。

参加者の方からも温かいお言葉をいただいておりますので、一部ご紹介致します。

現地での活動はコミュニティ開発に近いものですが、活動のための技術を得る機会がなかなかなく、とても参考になりました。(PCインストラクター隊員より)

相談内容や悩みに対し丁寧にお答えいただけて、終わった後にもそれぞれの方から word にてコメントをいただけて、とても参考になりました。(中略) 活動に対し振り返ることが精神的にきつかったり、現実から目を背けたいときもありますが、プロとして強くがんばってらっしゃる IFPaT の皆様の温かいコメントがいただけたことがとっても嬉しかったです。JOCV としても先輩方ということでおさら気持ちをおわかっていただけているんだろうなという安心感もありました。(コミュニティ開発隊員より)

受講中感じていましたが、皆様3名が女性であることもあり、参加者皆が安心感をもってセミナーが進んでいったと感じます。(コミュニティ開発隊員より)



一時帰国を余儀なくされた隊員の方々にとって、日本での待機期間は本当に大変な時期と  
思料しています。そんな中、今後に向けた具体的な行動を見出す一助になれたとしたら幸甚  
です。

さて、本セミナーの第三回、第四回も下記の通りに開催予定です。隊次問わず、派遣予定の  
方も含めて、海外協力隊みなさまのご参加をお待ちしております！

詳細はリンク先をご覧ください。

「第三回 再派遣応援！コミュ開ツール&相談会」

<https://partner.jica.go.jp/TrainingSeminarDetail?id=a0S2v00001c5vddEAA>

2020年8月18日（火）9:30-12:00

生活改善アプローチの基本事項、集落でのワークショップ実施方法、「私の一日」ツール演  
習、活動上の悩み相談、隊員活動に係る意見交換

「第四回 再派遣応援！栄養改善の事例とツール&相談会」

<https://partner.jica.go.jp/TrainingSeminarDetail?id=a0S2v00001c5veQEAQ>

2020年8月26日（水）9:30-12:00

栄養改善の国際的潮流と事例、「季節カレンダー」ツール演習、活動上の悩み相談、隊員活  
動に係る意見交換